

平成 21 年度～23 年度 習志野市事務事業評価表

1. 事務事業基本情報

事業名	No.75 特色ある学校づくり推進事業（自主研究）			担当課	指導課		予算費目名	款	項	目	
								10	01	02	
事業概要 及び目的	児童・生徒の実態や地域の特性を考慮して研究内容を定め、児童生徒の教育に関する研究の推進に自主的に取り組み、教育課程・指導方法・教育内容等の工夫改善に努め、教育効果と学校職員の資質の向上を目指す。			成果指標	成果指標	市立小・中学校全校で研究の成果として研究紀要等にまとめる。	年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
					計画値	市立小・中学校全校	予算額（単位：円）	5,312,880	5,211,360	5,210,910	5,109,840
							決算額（単位：円）	4,908,828 （指定と自主合計）	4,933,510 （指定と自主合計）	5,212,027 （指定と自主合計）	
							従事職員数	1	1	1	
事業の 位置づけ	章 1	豊かな人間性と暖かさを育むまち		★左記施策（号）との結び付き 児童・生徒の教育に関する研究を自主的に取り組むことで、教育効果を高めるとともに、学校職員の資質の向上が図られ小中学校の教育の充実に結びつく。	従事延べ日数	12	12	12			
	節 1	豊かな人間性を育む教育の推進			民間活力の導入	現状は？：□実現している □将来可能性はある □将来困難だが可能性はある ■余地なし 相手は？：□市民 □市民活動団体 □企業・学校等 形態は？：					
	項 2	次代をひらく学校教育の充実									
号 2	小中学校教育の充実										

2. 進捗状況

				平成 21 年 7 月 21 日記入					平成 22 年 6 月 2 日記入					平成 23 年 4 月 14 日記入
年度	21 年度評価（20 年度実施した事項についての評価）				22 年度評価（21 年度実施した事項についての評価）				23 年度評価（22 年度実施した事項についての評価）					
実施計画上の予定	実施	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由	実施計画 上の予定	実施	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由	実施計画 上の予定	実施	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由
完了した事項	・市立全小・中学校で教育課題解決のために特色ある研究テーマを設定し、実践的に取り組み、成果をあげた。また研究紀要としてまとめた。				・市立全小・中学校で教育課題解決のために特色ある研究テーマを設定し、実践的に取り組み、成果をあげた。また研究紀要としてまとめた。				・市立全小・中学校で教育課題解決のために特色ある研究テーマを設定し、実践的に取り組み、成果をあげた。また研究紀要としてまとめた。					
継続している 事項	・				・				・					
未着手事項	・				・				・					
改善案	成果指標 実績値 23 校 達成率 100%				成果指標 実績値 23 校 達成率 100%				成果指標 実績値 23 校 達成率 100%					

3. 今後の方向性

		※課内協議を経て管理職が記入してください。				平成 21 年 7 月 30 日協議実施				平成 22 年 6 月 7 日協議実施				平成 23 年 4 月 14 日協議実施			
今後の方向性	*根拠欄は、なぜその「成果の方向性」を選んだか？なぜその「コストの方向性」をえらんだか？別紙「評価の視点」を参照してください。	成果の方向性	拡充							○							
		現状維持															
		縮小															
		休廃止															
			休廃止	縮小	現状維持	拡充	コストの方向性										
		★上記を選択した根拠 各校の児童・生徒の実態をふまえ、これまでの研究を継続的に取り組んでいくことで、教育課題の実践的な解明が図られる。															
方向性を実現するため実施すること（改革案）	教育課題解決のために特色ある研究テーマを設定し、実践的に取り組むことを積極的に進めていく。																
前年度改革案の実施状況	■実施 □一部実施 □検討中 □その他 ★実施以外は具体的に記載してください。																